

## 賃貸借に関する契約書（案）

愛媛県立南宇和病院 院長\_\_\_\_\_（以下「甲」という。）と\_\_\_\_\_（以下「乙」という。）は、別紙記載の乙所有に係るセキュリティーシステム（以下「物件」という。）の賃貸借について、次のとおり契約を締結する。

（賃貸借物件）

第1条 乙は、別紙の物件を甲に賃貸する。

（設置場所）

第2条 物件の設置場所は、別添設置図のとおりとする。

（賃貸借期間）

第3条 賃貸借期間は、令和6年4月1日から令和11年3月31日までとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、翌年度以降において甲の歳入歳出予算の金額について減額又は削減があった場合は、この契約は解除するものとする。

（賃借料）

第4条 物件の賃借料は、月額\_\_\_\_\_円（うち消費税地方消費税の額\_\_\_\_\_円）とする。

- 2 賃借料について、賃借期間に1ヵ月に満たない端数月を生じた場合は、日割り計算をするものとする。この場合に、円未満は切り捨てるものとする。

（保守及び点検）

第5条 前項の賃借料には、別紙の物件の保守及び点検にかかる費用を含むものとする。

- 2 乙は、甲が別紙の物件を常に完全に使用できるよう、その責任において保守及び点検を行うものとする。
- 3 乙は、前項の保守及び点検を別紙記載のメーカーに委託して行うことができるものとする。

（賃借料の請求及び支払）

第6条 乙は、甲の使用した当月分の賃借料を翌月5日までに請求するものとする。

- 2 甲は、前項の請求を受け、適正と認めたときは、これを1ヵ月以内に支払うものとする。

（支払遅延利息）

第7条 甲は、その責めに帰すべき理由により、前条の支払期限内に賃借料を支払うことができないときは、支払期限の翌日から起算して支払日までの日数に応じ、支払期限の翌日時点における政府契約の支払遅延防止等に関する法律（昭和24年法第256号。）第8条第1項の規定に基づく遅延利息の率を乗じて計算した額の遅延利息を乙に支払うものとする。ただし、その額が百円未満であるときは、その全額を切り捨てるものとし、また、その額に百円未満の端数があるときは、その端数の金額を切り捨てるものとする。

（保険）

第8条 乙は、物件の賃貸期間中、必要な保険料を負担するものとする。

(損害賠償)

第9条 甲が自己の責めに帰すべき理由により、当該装置を滅失又は使用不能（修理不能）の状態にしたときは、乙は、甲にその賠償を請求できるものとする。

(装置の移転)

第10条 甲は、物件を第2条の設置場所から移転する必要があるときは、あらかじめ乙の承諾を得るものとする。

(契約の解除)

第11条 甲は、次の各号のいずれかに該当する場合は、いつでもこの契約の全部又は一部を解除することができる。

(1) 乙から契約の解除願の提出があったとき

(2) 乙が完了期限内に契約の履行をしないとき、又は履行する見込がないと甲が認めるとき

(3) 乙又はその代理人若しくは使用人が、正当な理由がなく、甲が行う検査の実施に当たり甲の指示に従わないとき、又はその職務の執行を妨害したとき

(4) 前各号のほか、乙がこの契約に基づく義務を履行しないとき

(5) 乙又は乙の代表役員等、一般役員等若しくは経営に事実上参加し若しくは実質的に経営を支配している者が、暴力団関係者（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団の関係者をいい、愛媛県暴力団排除条例（平成22年愛媛県条例第24号）第2条第3号に規定する暴力団員等を含む。）であると認められるとき

2 前項の規定により契約が解除されたときは、解除した部分に相当する額の10分の1を違約金として乙から徴収することができる。

3 乙は、第1項の規定により甲が契約を解除したときは、これにより被った損害について、甲にその賠償を求めることができない。

(物件の返還)

第12条 甲は、賃借期間が満了したとき、又は前条の定めによりこの契約が解除されたときは、物件を速やかに返還するものとする。

2 乙は、甲の指示する期日までに物件を撤去しなければならない。

3 返還に要する費用は、乙の負担とする。

(秘密の保持)

第13条 乙は、本契約に関する業務の遂行上知り得た情報を第三者に漏らしてはならない。ただし、事前に相手方の書面による承諾を得たものについては、この限りではない。

(個人情報の保護)

第14条 乙は、委託業務を遂行するための個人情報の取扱いについては、別記「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

(協議)

第15条 この契約の履行につき疑義を生じた事項又はこの契約に定めのない事項については、その都度、甲、乙協議して定めるものとする。

この契約の成立を証するため、本書2通を作成し、甲、乙記名押印して各自1通を保有する。

令和6年4月1日

愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲2433-1  
甲 愛媛県立南宇和病院  
院 長 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
乙 社名  
代表者職 \_\_\_\_\_